

エムロケ3 操作マニュアル

Copyright 2010 by MobileCreate ALL Rights Reserved

バージョン 1.0

改訂履歴

バージョン	日付	説明
Ver. 1.0.0	2010/3/11	第1版

はじめに

本システムは車両から送信されるデータを元に車両の位置や状態をWEB上に表示し、車両の管理を行います。

本マニュアルはエムロケ3の基本機能の操作方法について説明しております。

目次・操作編

1 システム要件	5
1.1 対応ブラウザ	5
1.2 対応OS	5
1.3 最小要件	5
2 サイトへのアクセス	6
3 ログイン方法	7
4 アイコン説明	8
4.1 端末アイコン	8
4.2 目印アイコン	9
4.3 その他のアイコン	10
5 共通機能	11
5.1 地図を移動する	11
5.2 地図の縮尺を変更する	12
5.3 登録した目印の位置に地図を移動する	13
5.4 電話帳から地図を移動する	14
5.5 指定した住所から地図を移動する	15
5.6 アイコンの名称を表示する	16
5.7 マニュアルのダウンロード	17
5.8 更新間隔の変更	18
6 現在状態画面	19
6.1 現在状態画面の表示	19
6.2 端末の情報をリスト形式で閲覧する	20
6.3 端末の詳細情報および最新情報を表示する	21
6.4 目印の登録を行う	22
6.5 目印の変更を行う	24
6.6 カテゴリの登録を行う	25
6.7 カテゴリの変更を行う	26
6.8 電話帳の登録を行う	27
6.9 音声送信	28
7 端末履歴画面	30
7.1 端末履歴画面の表示	30
7.2 端末履歴情報の表示	31
7.3 履歴端末間のライン表示	33

7.4	履歴情報のダウンロード	34
7.5	履歴情報のPDF保存	35
8	ルート検索画面	36
8.1	ルート検索画面の表示	36
8.2	出発地、経由地、到着地の設定	37
8.3	ルートの検索	39
9	ユーザー管理画面	41
9.1	ユーザー管理画面の表示	41
9.2	ユーザーの登録	42
9.3	ユーザーの編集	43
9.4	ユーザーの削除	44
10	端末管理画面	45
10.1	端末管理画面の表示	45
10.2	端末の編集	46
11	電話帳管理画面	47
11.1	電話帳管理画面の表示	47
11.2	電話帳の変更・削除	48

1 システム要件

1.1 対応ブラウザ

エムロケ3は、Microsoft Internet Explorer 8によって動作することを保証します。それ以外のWEBブラウザをご使用の場合は、動作を保証できません。

1.2 対応OS

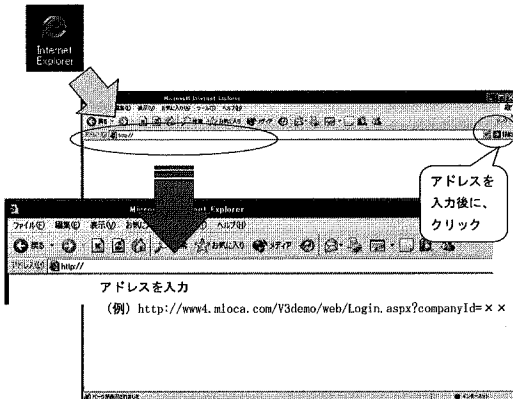
下記のOSに対応しています。

- ・ Windows Vista
- ・ Windows 7
- ・ Windows Server 2008
- ・ Windows Server 2008 R2
- ・ Windows XP SP2、SP3
- ・ Windows Server 2003

1.3 最小要件

Windows を実装し、SSE 命令セットをサポートする x86 または x64 500MHz 以上のプロセッサ、および 128MB 以上の RAM を持つパーソナルコンピュータ。

2 サイトへのアクセス



「Internet Explorer」を起動します。起動しましたら、図1のようにアドレスを入力してください。最後に、「移動」をクリックしますと、エムロケのサイトに移動します。また、サイトへのアクセスが行われる場合、下記の設定を確認してください。

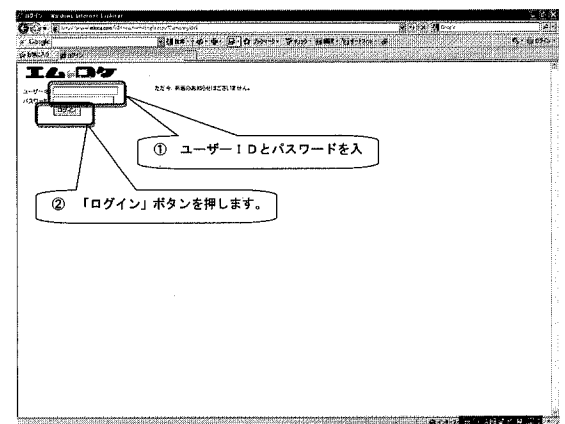
ファイアウォールソフトについて

- ・ シマンテック ノートンインターネットセキュリティ

「広告ブロック」の機能によって、JavaScript の動作が妨げられます。当社サイト閲覧時は「広告ブロック」の機能を無効化してください。

- ・ Windows XP Service Pack 2 以上
本OSの機能によって、JavaScript の一部の動作が妨げられます。ドメイン「www4.mloca.com」を許可してから、再度アクセスしてください。

3 ログイン方法



ログイン画面が表示されましたら、図2のように「ログイン名（ユーザーID）」と「パスワード」を入力します。入力し終わりましたら、「ログイン」ボタンを押します。ここで「ログイン名」と「パスワード」の確認を行います。「ログイン名」と「パスワード」が登録しているものと一致しましたら、ページが切り替わり、ログインが完了します。ログインを何度も実行し、「ログイン名」、「パスワード」が間違っていないと思われる場合は、ファイアウォールソフト（6ページ参照）の可能性があり。ファイアウォールソフトの設定等を確認して、再度ログインを試みてください。

4 アイコン説明

エムロケでは様々なアイコンを使用して、端末の状態等を表示しています。アイコンは表示する内容に応じて、移動体端末、目印等に分けられます。カテゴリ別に地図上に表示されるアイコンを次から説明します。

4.1 端末アイコン




	このアイコンは、移動体が一定速度以上で移動を行っている場合に表示されます。
	このアイコンは、移動体が一定速度以下で移動、もしくは停止している場合に表示されます。
	このアイコンは、移動体が閉局している場合に表示されます。

表3-1 端末で使用するアイコン一覧

表3-1のように移動体の状態は複数のアイコンで表示されます。移動体は地図上のアイコンの位置で実際の位置を確認できます。また、地図の縮尺が大きくなり、日本のほぼ全体が地図上に表示されるようになると、アイコンのサイズが小さくなり、アイコンの位置のみ判断できる状態になります。

4.2 目印アイコン

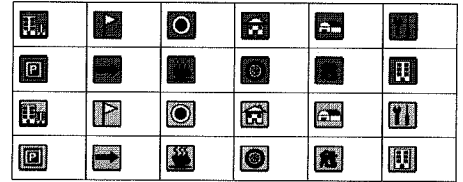


表3-2 マークで使用するアイコン一覧

表3-2はマークで使用するアイコンの一覧です。マークはユーザーが地図上に設定するポイントのことです。マークを設定することで、マークを設定した位置に地図の中心座標を移動する機能が使えます。

また、マークの表示はアイコン別に管理されるため、様々な用途に合わせて、マークを切り分けることもできます。

4.3 その他のアイコン









	ルート検索時に出発地点、経由地点、到着地点を指定する場合に表示されるアイコンです。
	
	
	
	
	
	
	

表3-3 その他のアイコン一覧

表3-3は今までに説明した移動体、マークとは異なる目的で使用しているアイコンの一覧です。表の説明のとおりですが、上のアイコンはルート検索時に使用します。

5 共通機能

5.1 地図を移動する

画面に表示されている地図の描画位置を変更することを、本マニュアルでは「地図を移動する」としています。地図を移動するには、地図上でマウスの左ボタンを押したまま地図を移動したい方向に動かし、左ボタンを離すか、または図5-1の地図コントロール（□内）の矢印をマウスの左ボタンを押すことで地図の移動を行います。

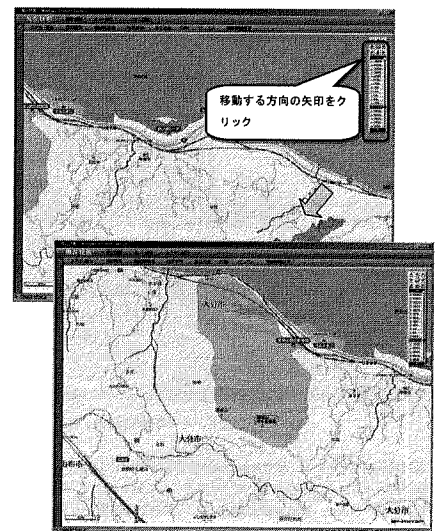


図5-1 地図の移動

5.2 地図の縮尺を変更する

画面上に表示できる地図の縮尺は「1/1500」～「1/1,300万」の18通りあります。縮尺の変更を行うには、次のいずれかの操作で行うことができます。
1つは、地図コントロールの「」または、「」ボタンを押して地図の縮尺を変更します。また、地図コントロールの「」ボタンを押して縮尺の一覧(図5-2)を表示して選択する方法と、マウスホイールを上に戻すことで縮小、下に戻すことで拡大することもできます。

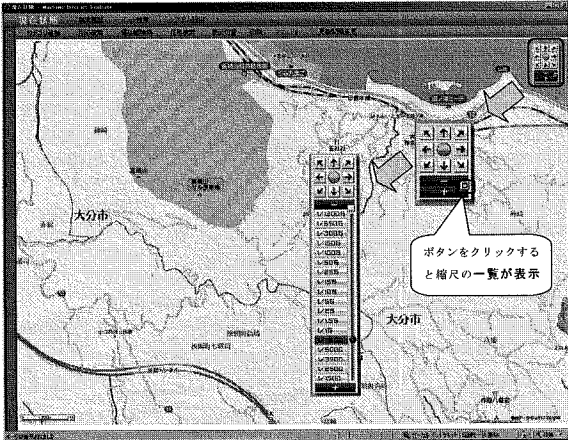


図5-2 地図の縮尺変更

5.3 登録した目印の位置に地図を移動する

目印から地図を検索するには、ユーザーが目印登録(2.2ページ参照)しておく必要があります。目印登録を行っている場合のみこの操作は有効です。目印から地図を検索すると、目印の登録座標を中心に地図が再描画されます。

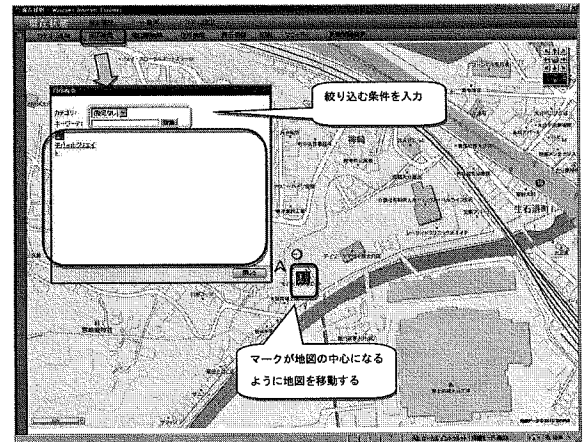


図5-3 目印検索

目印検索を行うには、検索画面を表示する必要があります。検索画面は地図メニューの「目印検索」ボタン(内)を左クリックすることで表示します。(図5-3)
検索画面を表示した時点で、内に登録済みの目印が表示されるので表示する目印の名称を左クリックするか、登録した目印が多い場合に、内の条件を入力し「検索」ボタンを左クリックすると、内に検索結果が表示されるので表示する目印を選択します。目印選択後、内のように目印が地図の中心に来るように地図を移動します。

5.4 電話帳から地図を移動する

電話帳から店舗・企業を検索するには、あらかじめ電話帳データを入力しておく必要があります。電話帳登録を行っている場合のみこの操作は有効です。電話帳から地図を検索すると、電話帳の登録座標を中心に地図が再描画されます。

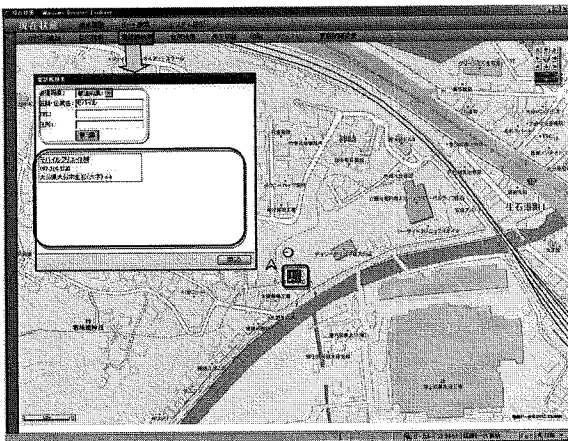


図5-4 電話帳検索

電話帳検索を行うには、検索画面を表示する必要があります。検索画面は地図メニューの「電話帳検索」ボタン(内)を左クリックすることで表示します。(図5-4)
検索画面を表示後、内の都道府県、市区町村、地域1~地域4を選択すると、選択した住所が地図の中心にくるように地図を移動し、地図上に内のように吹き出しを表示します。

5.5 指定した住所から地図を移動する

住所から地図を検索しますと、検索した住所の中心に地図が再描画されます。
※ 住所検索しても住所がない場合がございますので周辺の住所で再度、検索してください。

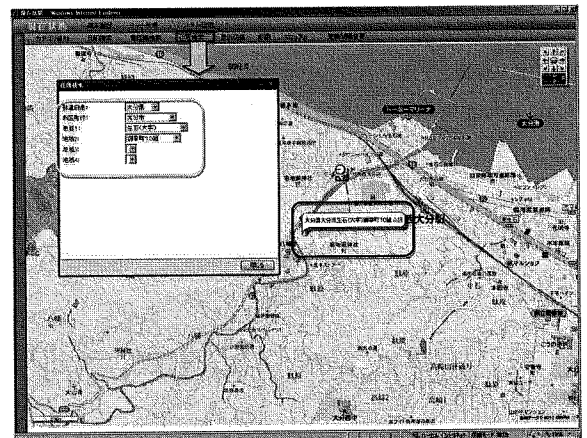


図5-5 住所検索

住所検索を行うには、検索画面を表示する必要があります。検索画面は地図メニューの「住所検索」ボタン(内)を左クリックすることで表示します。(図5-5)
検索画面を表示後、内の都道府県、市区町村、地域1~地域4を選択すると、選択した住所が地図の中心にくるように地図を移動し、地図上に内のように吹き出しを表示します。

5.6 アイコンの名称を表示する

端末アイコンや目印アイコンの名称を表示するには、地図メニューの「表示切替」ボタン()内を左クリックすることで表示します。再度、「表示切替」ボタンを左クリックするとアイコンの名称を表示しません。(図5-6)
 ※縮尺が1/50万以下では表示されません。

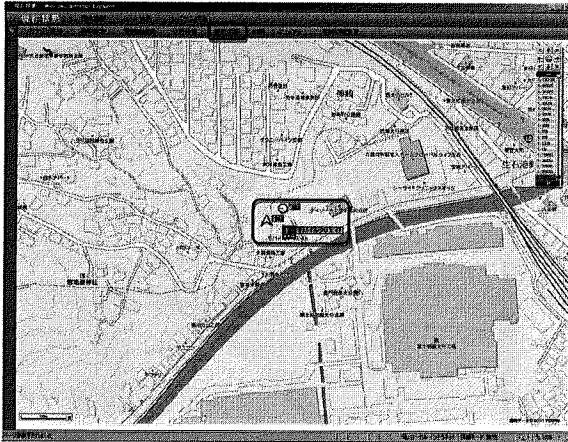


図5-6 アイコン名称表示

5.7 マニュアルのダウンロード

マニュアルをダウンロードするには、地図メニューの「マニュアル」ボタン()内を左クリックすることでマニュアルのダウンロード画面が表示されます。内のボタンを左クリックすることでマニュアルがダウンロードできます。(図5-7)

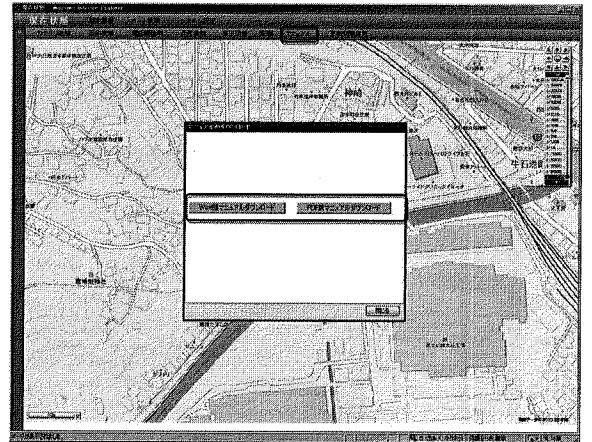


図5-7 マニュアルのダウンロード

5.8 更新間隔の変更

更新間隔を変更するには、地図メニューの「更新間隔変更」ボタン()内を左クリックすると更新間隔変更画面が表示されます。内で更新間隔を選択して「設定」ボタンを左クリックすることで更新間隔を変更することができます。(図5-8)

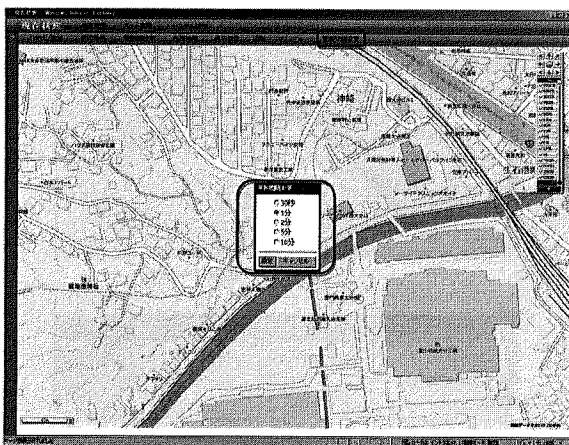


図5-8 更新間隔の変更

6 現在状態画面

6.1 現在状態画面の表示

現在状態画面は移動体の現在の位置や状態を表示する画面です。現在状態画面はログイン認証後に表示されます。他の画面からを表示するには、メニューの「現在状態」ボタン()内を左クリックすることで表示します。(図6-1)

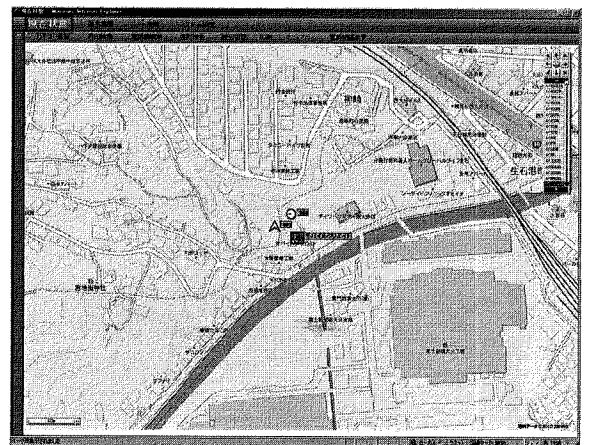


図6-1 現在状態画面の表示

6.2 端末の情報をリスト形式で閲覧する

端末情報をリスト形式で閲覧するには、以下の手順で行います。

内の ボタンをクリックすると端末のリストが表示されます。一覧表から端末を選択すると地図を移動し、詳細情報を表示します。リストに端末の数が多場合は、 内のキーワードに端末名を入力し、「検索」ボタンを左クリックすることで端末を絞り込むこともできます。一覧表を閉じる場合は再度ボタンを左クリックします。(図6-2)

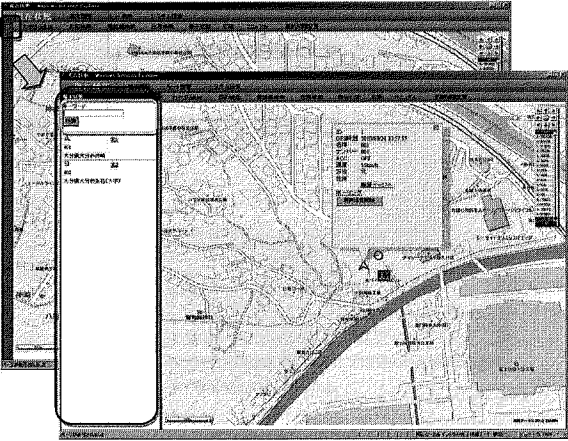


図6-2 端末情報リスト画面の表示

6.3 端末の詳細情報および最新情報を表示する

端末の詳細情報を表示するには、8-2.のリストを表示して端末を選択するか、アイコンをクリックすることで詳細情報を表示します。 内のポーリングを行うと端末の最新情報を取得します。ポーリングが成功すると端末の最新情報を表示します。失敗した場合は再度ポーリングを行ってください。

内の履歴ページへをクリックすることで端末履歴画面に移動します。(図6-3)

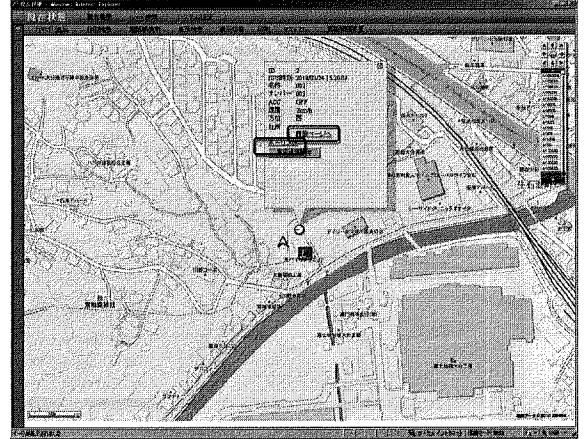


図6-3 端末の詳細情報および最新情報を表示

6.4 目印の登録を行う

目印を追加するには目印を追加する地図上の位置でマウスを右クリックします。右クリックすると、「目印の追加」 (図6-4-1の) が表示されるのでクリックすると目印を入力する吹き出しが表示されます。(図6-4-2の) 必要なデータを入力し、「OK」ボタンを左クリックすると地図上に目印が表示されます。(図6-4-3の) 地図上に表示のチェックをはずすと地図上にアイコンを表示しません。

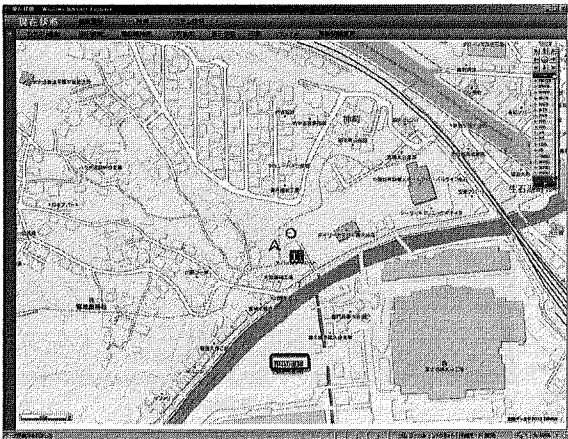


図6-4-1 目印の追加

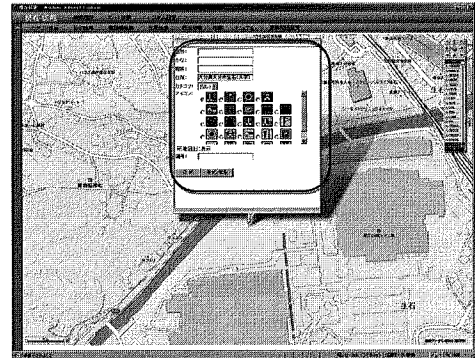


図6-4-2 目印のデータ入力

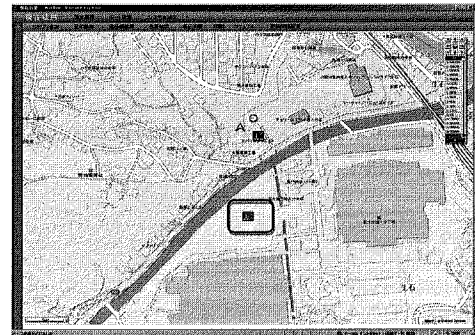


図6-4-3 目印の入力後

6.5 目印の変更を行う

目印の情報を変更するには地図上で変更する目印を左クリックすると変更するための吹き出しが表示されます。吹き出し内の「変更」ボタンをクリックすると目印の情報が変更されます。

目印を削除するには削除ボタンを左クリックします。(図6-5)

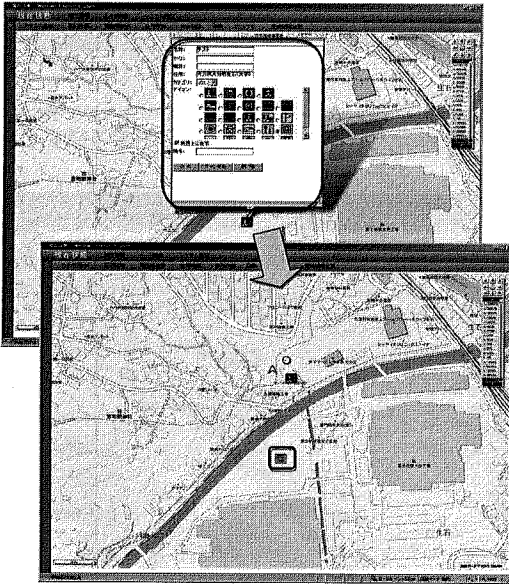


図6-5 目印の変更

6.6 カテゴリの登録を行う

カテゴリを登録するには地図メニューの「カテゴリ追加」ボタン(吹き出し内)を左クリックするとカテゴリ追加画面が表示されます。登録する場合はカテゴリ名を「新規作成」にして、新規カテゴリ名、ふりがな、略称を入力し、「登録」ボタンを左クリックします。(図6-6)



図6-6 カテゴリの登録

6.7 カテゴリの変更を行う

カテゴリを変更するには地図メニューの「カテゴリ追加」ボタン(吹き出し内)を左クリックするとカテゴリ追加画面が表示されます。変更する場合はカテゴリ名から変更するカテゴリ名を選択して、新規カテゴリ名、ふりがな、略称を入力し、「登録」ボタンを左クリックします。カテゴリを削除する場合は、削除するカテゴリをカテゴリ名から選択し、「削除」ボタンを左クリックします。(図6-7)

※ 削除するカテゴリが目印で使用されている場合は、カテゴリの削除はできません。目印のカテゴリを変更後に再度、カテゴリの削除を行って下さい。



図6-7 カテゴリの変更

6.8 電話帳の登録を行う

電話帳を登録するには、電話帳を登録する位置でマウスを右クリックして、コンテキストメニューから「電話帳登録」(吹き出し内)を左クリックします。右クリックした位置に吹き出しが表示されるので入力欄(店舗・企業名は必須)を入力し、「登録」ボタンを左クリックします。(図6-8)

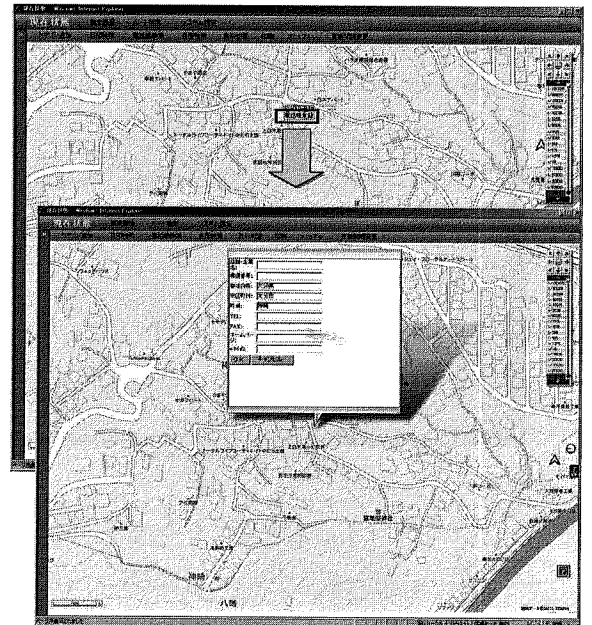


図6-8 電話帳の登録

6.9 音声通信

Silverlight をインストールすることで、「エムロケ音声クライアント」と連携した音声通信を行うことが出来ます。 Silverlight がインストールされていない場合は、アイコンをクリックするとインストールを促すメッセージとバーナー(内)が表示されるので、バーナーをクリックし、保存・実行して下さい。(図6-9-1)

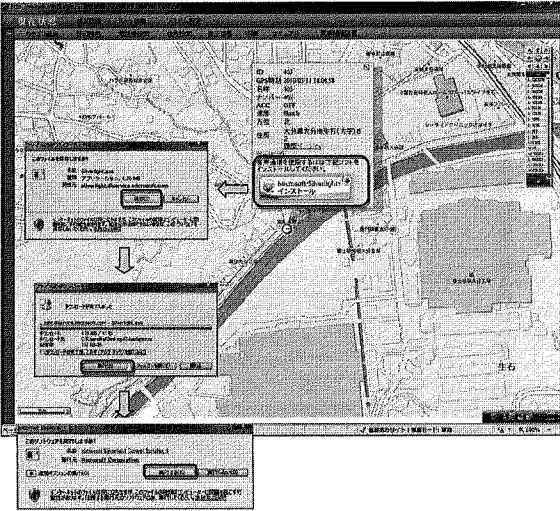


図6-9-1 Silverlightの保存

実行を左クリックするとインストール画面が表示されるので、「今すぐインストール」を左クリックするとインストールが始まり、数秒で完了します。(図8-9-2)



図6-9-2 Silverlightのインストール

Silverlight がインストールされていると、アイコンをクリックすることで「音声通信開始」ボタン(内)が表示されます。「エムロケ音声クライアント」が起動している状態で「音声通信開始」ボタンを左クリックすると、音声通信が始まります。(図6-9-3)

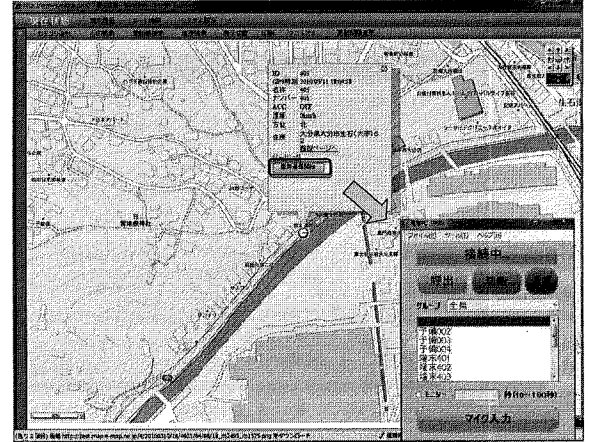


図6-9-3 音声通信開始

7 端末履歴画面

7.1 端末履歴画面の表示

端末履歴画面は移動体の過去の履歴を時間ごとに表示する画面です。端末履歴画面を表示するには、メニューの「端末履歴」ボタン(内)を左クリックすることで表示します。(図7-1)

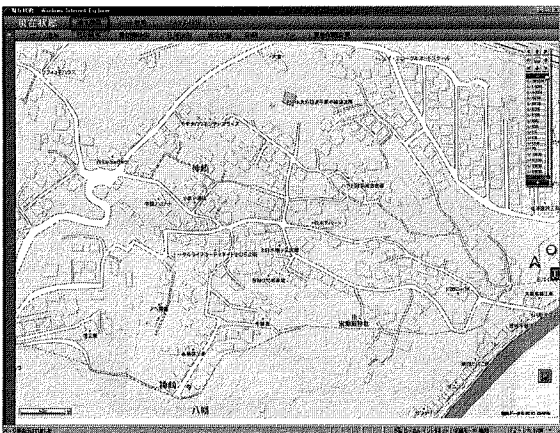


図7-1 端末履歴画面の表示

7.2 端末履歴情報の表示

端末の履歴情報を表示するには、 内の「端末」ボタンを左クリックすると端末検索画面が表示されますので履歴を表示する端末を左クリックします。端末の数が多い場合はキーワードに端末名を入力することで端末を絞り込むことができます。(図7-2-1)

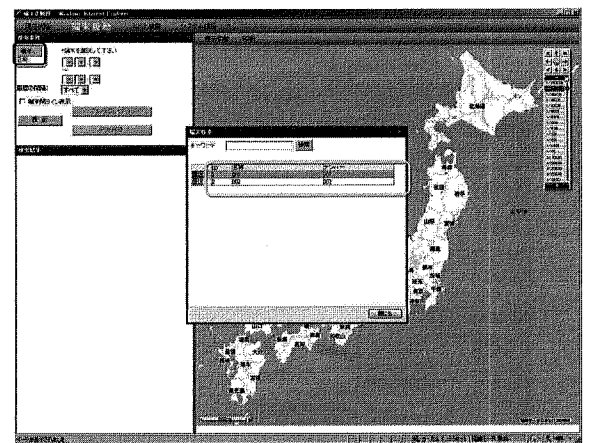


図9-2-1 端末の選択

端末を選択すると図7-2-2の 内のように端末名が表示され、日時が選択できるようになります。表示される日時は履歴データのあるデータです。日時から履歴を表示する時間帯を設定します。 内の履歴の間隔から表示する履歴の間隔を選択します。選択後、「表示」ボタンを左クリックすると図7-2-3のようにリストが表示され端末の履歴が地図上に表示されます。 ※表示できる最大件数400件までです。メッセージが表示されたら検索条件を変更して再度、「表示」ボタンを左クリックしてください。

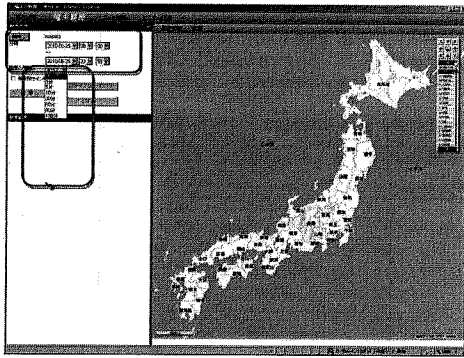


図7-2-2 履歴の表示条件の設定

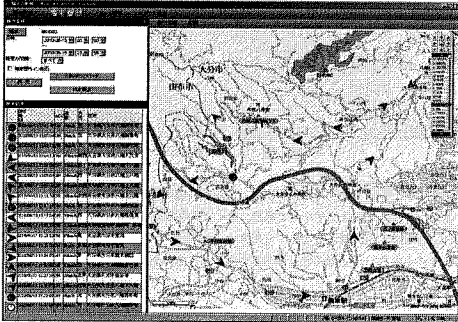


図7-2-3 履歴情報の表示

7.3 履歴端末間のライン表示

端末の履歴間をラインで結ぶ場合は、内の「端末間ライン表示」にチェックをつけて「表示」ボタンを左クリックしてください。ラインを消す場合はチェックをはずし、「表示」ボタンを左クリックしてください。(図7-3)

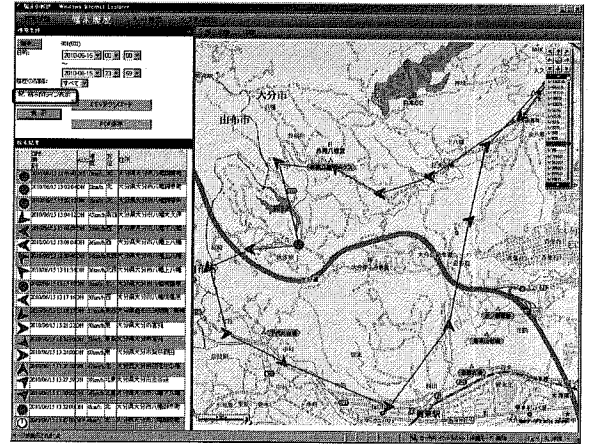


図7-3 履歴端末間のライン表示

7.4 履歴情報のダウンロード

履歴情報はCSVファイル形式でダウンロードすることができます。

履歴情報をダウンロードするには、端末を選択し、日時を設定後に内の「CSVダウンロード」ボタンが有効になりますので、「CSVダウンロード」ボタンを左クリックします。ファイルのダウンロード画面が開きますので「保存」ボタンを左クリックして保存先のフォルダを指定してください。(図7-4)

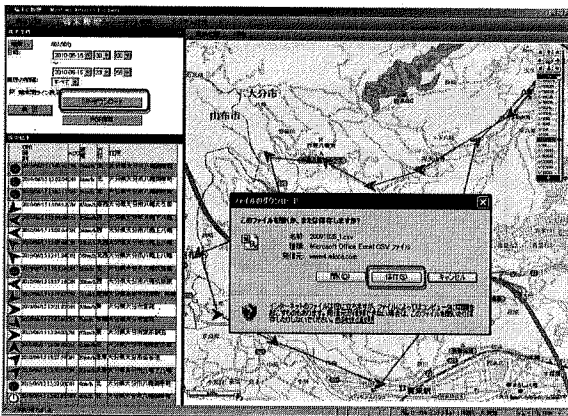


図7-4 履歴情報のダウンロード

7.5 履歴情報のPDF保存

履歴情報はPDFファイル形式でダウンロードすることができます。

履歴情報をダウンロードするには、端末を選択し、日時を設定後に内の「PDF保存」ボタンが有効になりますので、「PDF保存」ボタンを左クリックします。ファイルのダウンロード画面が開きますので「保存」ボタンを左クリックして保存先のフォルダを指定してください。(図7-5)

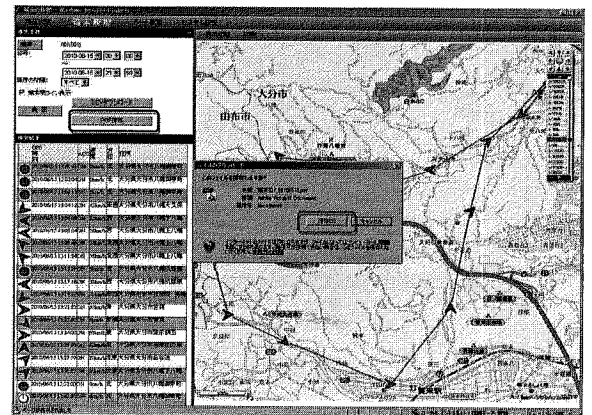


図7-5 履歴情報のPDF保存

8 ルート検索画面

8.1 ルート検索画面の表示

ルート検索画面は出発点及び経由地を指定し、指定した目的地までの区間のルートを表示する画面です。ルート検索画面を表示するには、メニューの「ルート検索」ボタンを左クリックすることで表示します。(図8-1)

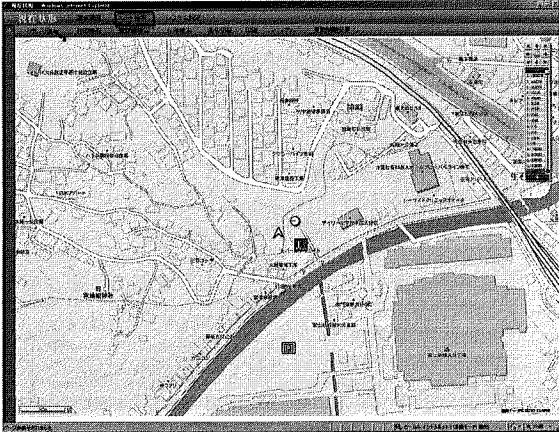


図8-1 ルート検索画面の表示

8.2 出発地、経由地、到着地の設定

ルート検索画面で出発点、経由地および目的地を指定するには、「追加」ボタンをクリックすると□内のように地図の中心にアイコンが表示されます。(□) このアイコンをマウスの左ボタンで押したまま出発する地点まで移動し、左ボタンを離します。(図8-2-1)

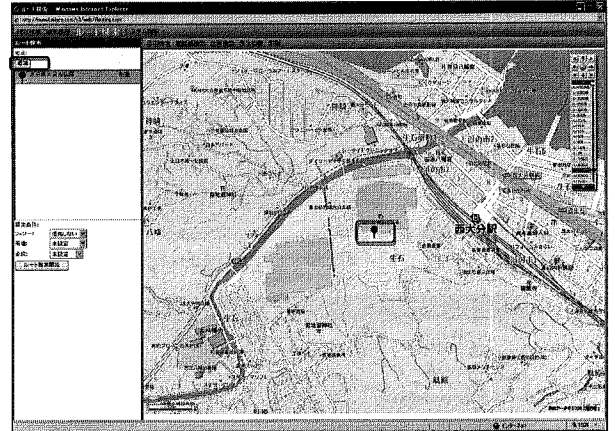


図8-2-1 地点の追加

マウスの左ボタンを離すと□内にアイコンのある位置の住所が表示されます。(住所が表示されないルート検索ができませんので再度、アイコンを移動してください) 同じ方法で目的地と経由地がある場合は経由地を指定してください。(図8-2-2)

※ 指定できる地点の数は出発地、目的地を含めて8地点までです。

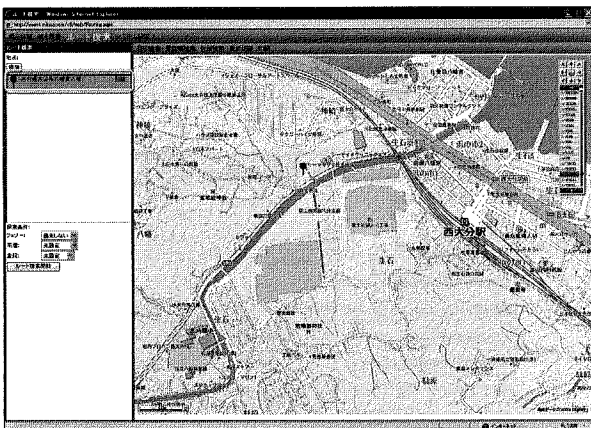


図8-2-2 地点の住所の表示

8.3 ルートの検索

8-1.の方法で検索する地点を設定したら、□内の検索する条件を指定します。フェリーはフェリーを優先してルート検索を行う場合に「優先する」にします。高速は高速道路を優先してルート検索を行う場合に「優先する」を選択します。全般は道幅を優先する場合に「道幅優先」を、距離を優先する場合には「距離優先」を、直進を優先する場合には「直進優先」を選択します。フェリー、高速、全般で特に条件を指定しない場合は「未設定」です。必要な条件を入力し、「ルート検索開始」ボタンをクリックするとルート検索を行います。(図8-3-1)

※ 地点の数や条件により多少時間がかかります。

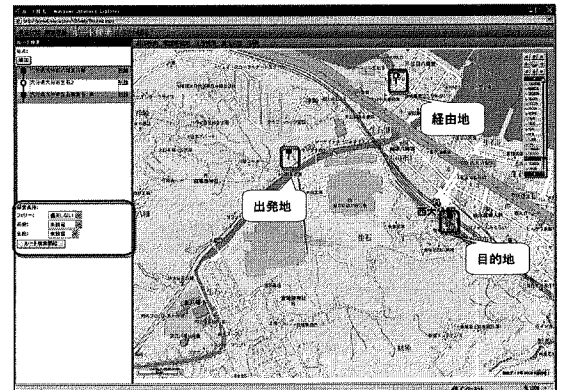


図8-3-1 検索条件の入力

検索後、ルートが表示される区間のおよその距離と時間が表示されます。

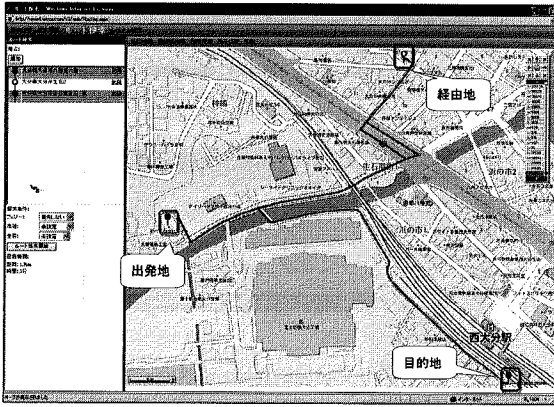



図8-3-2 ルート検索の結果表示

9 ユーザー管理画面

9.1 ユーザー管理画面の表示

ユーザー管理画面はユーザーの追加、更新、削除を行う画面です。ユーザー管理画面を表示するには、メニューの「システム設定」ボタンを左クリックし、リストの中から「ユーザーの管理」ボタン () を左クリックすることで表示します。(図9-1)

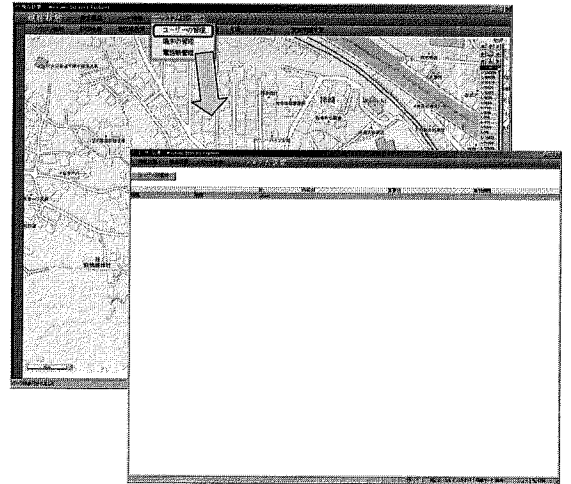




図9-1 ユーザー管理画面の表示

9.2 ユーザーの登録

ユーザーの登録方法は、ユーザー登録画面の  内の「ユーザーの追加」ボタンを左クリックすると入力項目が表示されます ( 内)。ユーザー名、パスワードを入力し、「更新」ボタンを左クリックすると、ユーザーが登録されます。(図9-2)

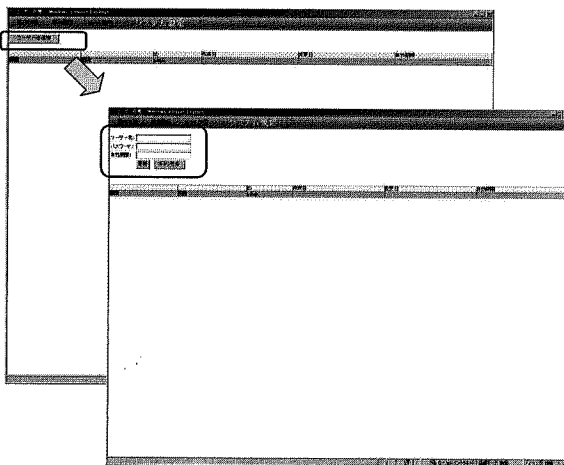




図9-2 ユーザーの追加

9.3 ユーザーの編集

ユーザーの編集方法は、ユーザー登録画面の  内の「編集」ボタンを左クリックすると入力項目が表示されます ( 内)。入力内容を変更し「更新」ボタンを左クリックすると、ユーザーの内容が変更されます。(図9-3)

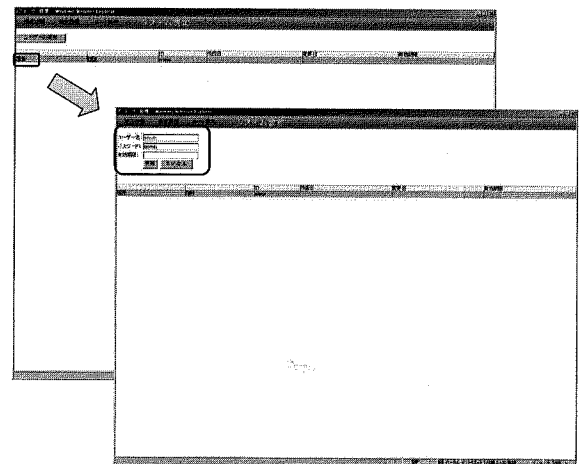


図9-3 ユーザーの更新

9.4 ユーザーの削除

ユーザーの削除方法は、ユーザー登録画面の [] 内の「削除」ボタンを左クリックすると、確認画面が表示されるので「OK」ボタンを左クリックするとユーザーが削除されます。(図9-4)

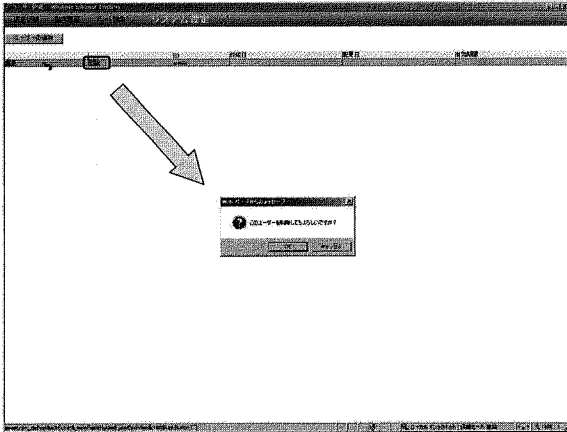


図9-4 ユーザーの削除

10 端末管理画面

10.1 端末管理画面の表示

端末管理画面は車両の編集を行う画面です。端末管理画面を表示するには、メニューの「システム設定」ボタンを左クリックし、リストの中から「端末の管理」ボタン ([] 内) を左クリックすることで表示します。(図10-1)

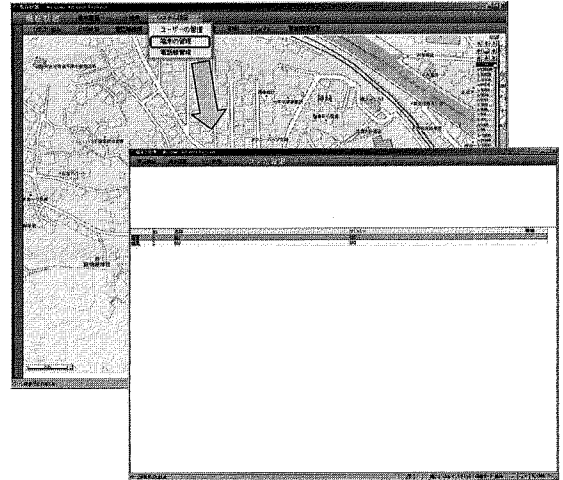


図10-1 端末管理画面の表示

10.2 端末の編集

端末の編集方法は、端末登録画面の [] 内の「編集」ボタンを左クリックすると入力項目が表示されます ([] 内)。入力内容を変更し「更新」ボタンを左クリックすると、端末の内容が変更されます。(図10-2)

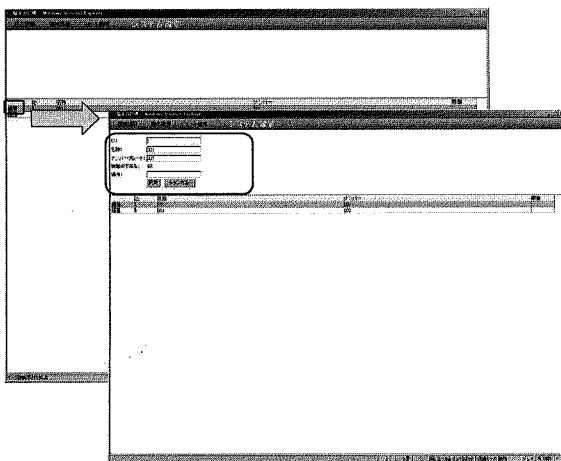


図10-2 端末の編集

11 電話帳管理画面

11.1 電話帳管理画面の表示

電話帳管理画面は、電話帳の編集、削除を行う画面です。電話帳管理画面を表示するには、メニューの「システム設定」ボタンを左クリックし、リストの中から「電話帳管理」ボタン ([] 内) を左クリックすることで表示します。(図11-1)

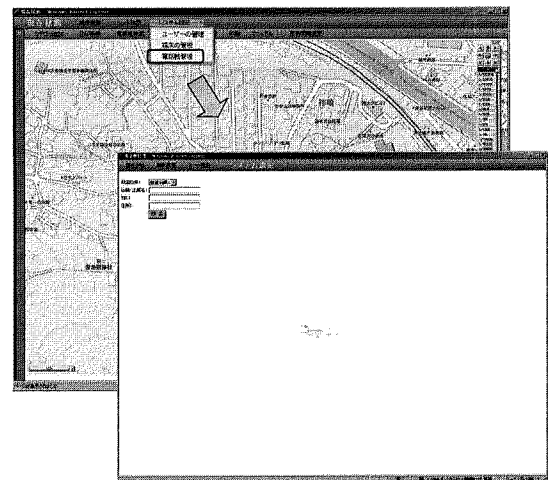


図11-1 電話帳管理画面の表示

11.2 電話帳の変更・削除

電話帳の変更・削除を行うには、検索条件()内を入力し、「検索」ボタン()内を左クリックすると電話帳のデータが表示されるので、変更・削除したい電話帳のデータを選択します。(図11-2-1)

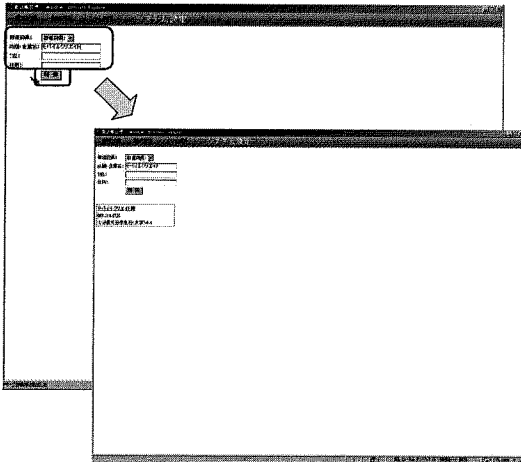


図11-2-1 電話帳データの表示

電話帳のデータの「名称」()内を選択すると詳細の項目()内が表示されるので、変更をした場合は項目内に変更データを入力して「更新」ボタン()内を左クリック、削除したい場合は「削除」ボタン()内を左クリック、更新・削除を中止したい場合は「キャンセル」ボタン()内を左クリックします。(図11-2-2)

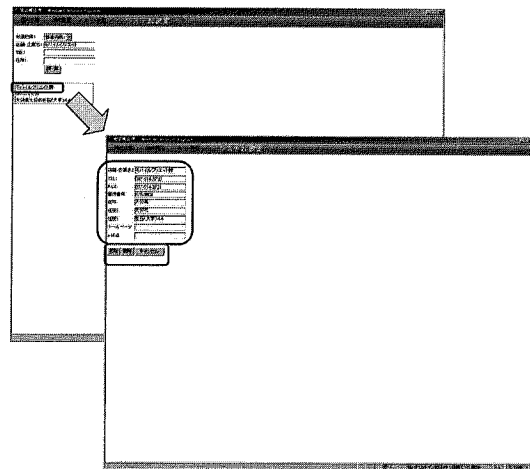


図11-2-2 電話帳データの更新・削除

エムロケ3
基本操作編 取扱説明書
発行日 2010年3月11日第一版第一刷発行

モバイルクリエイイト株式会社
<http://www.mcinc.jp>
〒870-0804 大分県大分市御幸町4組
TEL : 097-514-3720
FAX : 097-514-3721

- ・本書の内容の無断転載、複写を禁止します。
- ・本書の内容は予告なしに変更することがあります